

10 月

■1日

日銀横浜支店は、9月の企業短期経済観測調査（短観）を発表した。県内企業の景況感を示す業況判断指数（DI）は、全産業でプラス15となり、6月の前回調査から5ポイント改善した。県内の業況改善は4四半期ぶり。全国が2ポイント悪化したのに対し、県内の景況感は比較的底堅さをみせた。

■2日

神奈川大学（横浜市神奈川区）と城南信用金庫（東京都品川区）は、新事業創出に関する相互支援や地域の産業・経済の発展に向けた産学連携協定を締結した。大学の知見と信金の情報ネットワークを活用し、地域活性化につなげる。

■5日

神奈川トヨタ自動車がまとめた9月の県内新車販売台数（軽自動車含む）は前年同月比8.2%増の3万361台で、6カ月連続前年を上回った。多目的レジャー車（RV）が好調だったのに加え、乗用車が11カ月ぶりに前年比プラスに転じ、9月としては過去10年で最多となった。

■7日

学習塾を運営する「中萬学院」の持ち株会社であるビジョンポート（横浜市）は、学習塾経営会社「さなる」（東京都新宿区）に全株式を譲渡する契約を締結した、と発表した。

■8日

日産自動車は、社長兼最高経営責任者（CEO）に内田誠専務執行役員が昇格する人事を発表した。最高執行責任者（COO）には、企業連合を組む三菱自動車のアシュワニ・グプタCOOが就く。

正月の食卓を彩る商品を集めた「年末商品展示会」が、横浜市中央卸売市場（同市神奈川区）で開かれた。県内のメーカーや、東北地方の水産会社など約400社が出展した。

■9日

東京商工リサーチ横浜支店がまとめた2019年度上期（4～9月）の県内企業倒産件数（負債総額1千万円以上）は、前年同

期比24.6%増の284件、負債総額は5.6%増の281億9500万円だった。上期は8月を除く全ての月で前年同月を超えた。

三井不動産は、改装中の「三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド」（横浜市金沢区）を2020年4月10日にグランドオープンすると発表した。入居テナント数は、従前の約80店から約170店へと倍増。国内アウトレット初出店の12店のほか、人気海外ブランドやセレクトショップが多数出店する。

■11日

高島屋は、港南台店を来年8月に閉店すると発表した。40年近い歴史に幕を下ろす。来店客の減少に歯止めがかからず、近年は赤字が続いていた。港南台店が入居するビルは相鉄グループが所有。閉店後のテナントは未定という。

■12日

オフィス仲介大手の三鬼商事横浜支店が発表した9月の横浜ビジネス地区（関内、横浜駅、新横浜、みなとみらい21（MM21））のオフィス空室率は2.32%と、前月から0.15ポイント上昇した。大規模な解約が相次ぎ、全体で空室面積が拡大した。

■22日

西武ホールディングス傘下で総合レジャー施設運営の横浜八景島（横浜市金沢区）は、台湾に進出する水族館の名称を「X park（エクスパーク）」に決定したと発表した。2020年夏の開業を予定し、年間来場者数は160万人を見込んでいる。

■24日

日銀横浜支店は、10月の金融経済概況を発表した。県内の景気について「海外経済の減速の影響がみられるものの、緩やかに拡大している」とする4月以降の総括判断を据え置いた。個人消費については、消費税率引き上げの影響による「振れ」に言及したが、「緩やかに持ち直している」とする判断を維持した。

■26日

横浜の新名物をつくろうと、崎陽軒（横浜市西区）と関東学院大学（同市金沢区）、KADOKAWA（東京都）は、菓子セット「横浜の灯り」を開発し

た。崎陽軒創業110周年に合わせた産学協同プロジェクト。3者は「横浜の手土産に」とPRする。

■29日

大和ハウス工業（大阪市）は、横浜市栄区で手掛けた分譲地「上郷ネオポリス」の一角に、コンビニを併設したコミュニティ施設「野七里テラス」をオープンした。高齢化が進む街の新たな拠点と位置付け、地域の再生事業を展開する。

■30日

財務省横浜財務事務所は、10月の県内経済情勢を発表し、総括判断を「一部に弱い動きが見られるものの、回復しつつある」とする前回7月の判断を維持した。「回復しつつある」は10四半期連続。

小田急電鉄（東京都）は、次世代移動サービス「Ma a S（マース）」の実用化に向けて新開発したスマートフォン向け経路検索アプリ「EMot（エモット）」のサービスを開始した。当初予定していた箱根での実証実験は、台風19号の影響で箱根登山鉄道が運休しているなどとし、開始時期を延期する。

そごう横浜店（横浜市西区）は、市内の主要百貨店で最も早く、お歳暮ギフトセンターを開設した。消費増税後初の商戦となるため、同店は「自家需要商品や配送料込みギフトなどを充実させ、売り上げにつなげていきたい」と意気込む。

■31日

横浜市は、ベンチャー企業の支援拠点「YOXO（よくぞ）BOX」を同市中区尾上町のビル内に開設した。三菱地所（東京都）など4社の共同企業体が運営し、設立間もない企業や起業を志す人が活躍の場を広げるための実践的なプログラムを展開する。

菓子製造販売を手掛けるありあけ（横浜市中区）の新業態店舗「ありあけ ハーバースタジオ」が、横浜・みなとみらい21（MM21）新港地区に新たに完成した複合施設「横浜ハンマーヘッド」内にオープンした。オリジナルのハーバーセット「myハーバー」や同店限定の新商品を展開している。